



## 「こんにちは 市長です」

8月20日号

今治の「おんまく」祭りに招かれた。5年くらい行っていない、そろそろ出掛けないと忘れられてしまう。「まずい、行こう」という気になった。菅市長に加計学園の顛末(てんまつ)も聞いてみたかったし、愛媛の中村知事にも会ってきたかったし、せっかく一泊するのなら広島「原爆資料館」に寄ってみたかったし、何でも詰め込んでこようと思った。

夏休みだったので加計学園の中には入れなかったけど、見るからに立派。周辺の不動産が動いているとのこと。1千人もの学生が集まるのだからまちは元気になる。夜、中村知事に会ってそれから花火。「おんまく」というのは歴史的なものではなく花火がフィナーレ。海岸沿いの道路ははち切れんばかりの人の波で満杯。1時間たっぷり満天の光に興じた。隣に座った中村知事とあれこれおしゃべり、市や町の首長との関係に気を使われているとのことだった。「加計学園、意地を感じましたよ」と評価したら満足気だった。知事とは短い時間だったけど日本新党(昔、こんな政党があった)と一緒に活動していたことがある。そんなにも遠いとは知らずに「広島の原爆資料館に行きたいので送ってくれますか」と今治にお願いしてしまった。原爆ドームまで片道150kmある。職員は300km走ることになった。「ごめん、ごめん」である。しまなみ海道から瀬戸内海の島々を見た。高齢化するなかで行政はご苦労だろうな。一人暮らしの高齢者にお医者さんは? 買い物は? なんて頭を巡らしていた。

原爆ドームが緑あふれる公園の中に現れた。小さい。翌日は8月6日、74年目の「原爆の日」、式典の準備で大忙しである。リニューアルしたばかりの「原爆資料館」に入った。入り口の廊下は薄暗く、行きと帰りは明かりで分離されている。ぺちゃくちゃおしゃべりしながら資料館に入る、けど、帰りはみんな押し黙っていた。